



鶴見川水系

鶴見川は、東京都町田市から多摩丘陵を流れ、横浜市鶴見区で東京湾に流入している流域面積 235 K m²、幹線流路延長 42.5km の一級河川です。鶴見川流域では、保水地域、遊水地域、低地地域に大別した総合治水対策を実施しています。

「鶴見川へ流れる川」

●矢上川

宮前区向ヶ丘、菅生地先から市道尻手黒川線に沿って流れ、東京急行電鉄田園都市線、国道246号線を横切り県管理区間を経て鶴見川に流入しています。流域は、田園都市線を基軸とする大規模な土地区画整理事業等によって宅地化が急激に進み、市街化率は著しく高くなっています。

●有馬川

宮前区鷺沼地先から、宮前区有馬地内を流れ、市営有馬第1団地付近で南東に向きを変え、主要地方道丸子中山茅ヶ崎線に沿って北東に向かい、県管理の一級河川である矢上川に流入しています。流域は、中流部において、田畑・山林を多少残していますが、上下流部においては、大規模な土地区画整理事業等によって宅地化が著しく進んでいます。

●真福寺川

麻生区王禅寺地先から、麻生区下麻生地内を流れ鶴見川に流入しています。流域は、全体的に宅地化が進み、特に上流部は、大規模な土地区画整理事業等によって宅地化され、市街化率は急速に高くなっています。

●麻生川

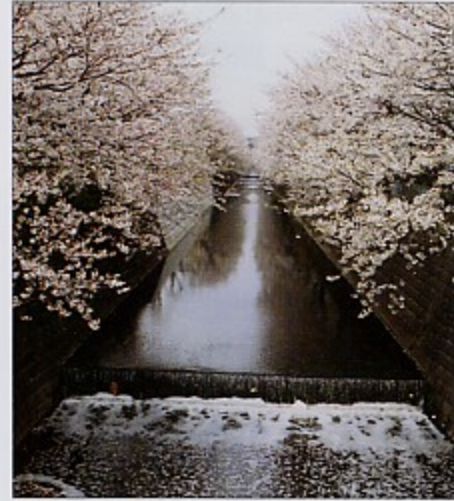
麻生区金程および稲城市平尾地先から、稲城市との境を流下し、主要地方道世田谷町田線と小田急線の間を流れ、麻生区上麻生地先で片平川を合流し、南東に向きを変え、大谷戸橋で県管理の区間を経て鶴見川に流入しています。流域は、一部市街化調整区域はあるものの、大規模な土地区画整理事業等が現在計画・施行中であり、今後、流域全体としては、市街化率は急速に高くなるものと思われます。

●片平川

麻生区栗木地先から、北東に流れ、常念寺より南東に大きく屈曲して、県道上麻生区蓮光寺線に沿って流下し、麻生区上麻生地先で、麻生川に流入しています。流域は、右岸のほぼ全域が市街化調整区域であり、左岸流域は、大規模な土地区画整理事業等による宅地化が著しく、また現在計画中の事業もあり、今後、流域全体としては、市街化率が高くなるものと思われれます。



●矢上川 (宮前区野川地内)



●麻生川 (麻生区上麻生地内)



●片平川 (麻生区上片平地内)

